

ベンチャー企業を選ぶ人の志向性

学生番号：2032033 氏名：岡辺 翔

指導教員：山崎治 准教授

1. はじめに

就職活動において、世間体を気にしたり、将来のことを深く考えることなく大手企業を第一志望の企業として選択している人が多い傾向にある。ベンチャー企業に対しての就活意識についてのアンケート調査（株式会社ディスコ 2020）によると、ベンチャー企業への就活に「とても関心がある」と回答した割合は「20人に1人（5.1%）」の割合であった。しかし、ベンチャー企業でしか歩むことができないキャリアもある。

本研究では、ベンチャー企業を選ぶ人と大手・中小企業を選ぶ人との志向性の違いを明らかにすることを目的とする。それにあたって、ベンチャー志向の人と大手志向の人との価値観や仕事・学生生活についての考え方の違いを質問紙調査により調査する。

2. 調査

2.1 方法

調査対象者：千葉工業大学の学生3・4年生と、ベンチャー企業である株式会社ネクサスエージェントの内定者を対象として合計31名を対象者とした。

質問用紙と設問の構成：Google Form を用いて質問紙を作成した。回答形式は選択式とした。

はじめは、フェイスシートとして質問の目的や注意事項、倫理的配慮に関する説明を記載し、性別、年齢、現状の就職活動状況を答えてもらう設問を記載した。

就職活動の考え方や向き合い方に関する質問は、全5問構成であり、全ての設問を必須項目として4問を選択式、1問を自由記述とした。

人生に関する価値観に関しての質問は、全4問構成で2問が選択式、2問が自由記述式とした。

これまでの学生生活についてに関する質問は、全5問構成で全ての問題を選択式とした。

手続き：調査対象者にはオンラインで個別に回答をしてもらった。

調査の概要説明およびリンク情報などをまとめたpdfファイルを作成し、調査対象者に対して配布する。配布はオンライン（LINEやメール等）で行い、調査対象者は各自のパソコンやスマートフォンなどを用いてアンケートにアクセスする。

回答期間は1週間として、調査対象者の任意の環境・時間に回答を行うものとした。

2.2 結果

調査対象者 31 名からデータが得られた。最もベンチャー企業を選ぶ人とそうではない人での志向性

の違いが現れた質問が「就活観」に対する質問であった。図1に結果を示す。【収入さえあればよい】

【自分の夢のために働きたい】【プライドのもてる仕事をしたい】【出世したい】については、「ベンチャー」志向と「大手企業」「中小企業」志向の人達の回答に大きな差が見られた。【出世したい】という項目は、「ベンチャー」志向と「大手企業」「中小企業」志向の人達とでは、それぞれ1.44点、1.42点の差が見られた。

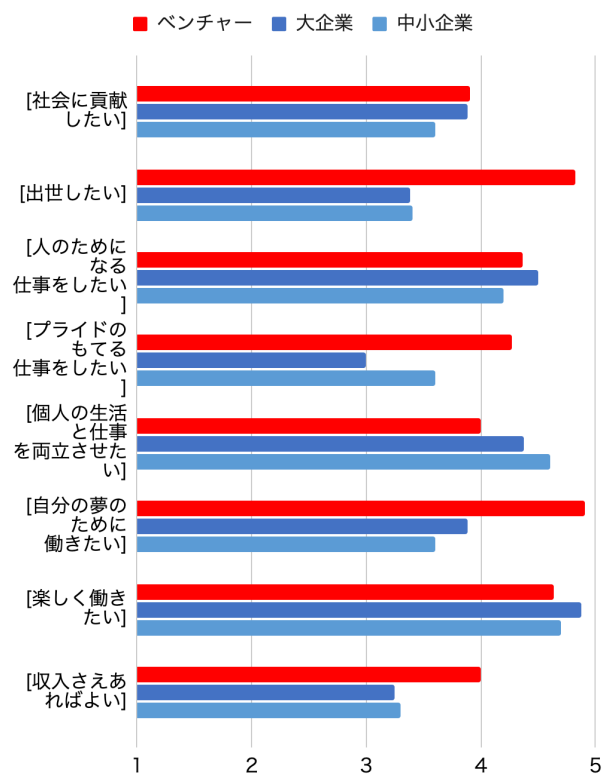


図1：最も重要視している就活観について

3. おわりに

本研究では、ベンチャー企業を選ぶ人と大手・中小企業を選ぶ人との志向性の違いを明らかにすることを目的とした。調査では、大手企業・中小企業を選ぶ人とベンチャー企業を選ぶ人との志向性の違いを「価値観」、「学生生活での過ごし方」の観点から調査した。結果、就活観、将来の夢に対する考え方に大きな違いが見られることが分かった。

参考文献

株式会社ディスコ. (2019). 1 月 1 日時点の就職意識調査. 株式会社ディスコ https://www.disc.co.jp/wp/wp-content/uploads/2019/01/201901_gakuseicho_sa.pdf